

第33回 ビジネス日本語研究会  
2022年6月11日 13:00-17:00

# プロジェクト型学習(PBL)への挑戦 ～海外と国内の事例から～

シンガポールのビジネス日本語教育における  
プロジェクト型学習

ウォーカー泉(シンガポール国立大学)

建国：1965年 人口：550万人

国土：東京23区程度

民族：中国75.9% マレー7.5%  
インド1.6% その他13.4%

言語：英語/中国語/マレー語/タミール語

GDP：世界2位（日本30位）



シンガポール



パプア  
ニューギニア

# シンガポール国立大学の日本語教育

日本語：13外国語（選択科目）の一つ

学生数：1学期の日本語履修者数約750名

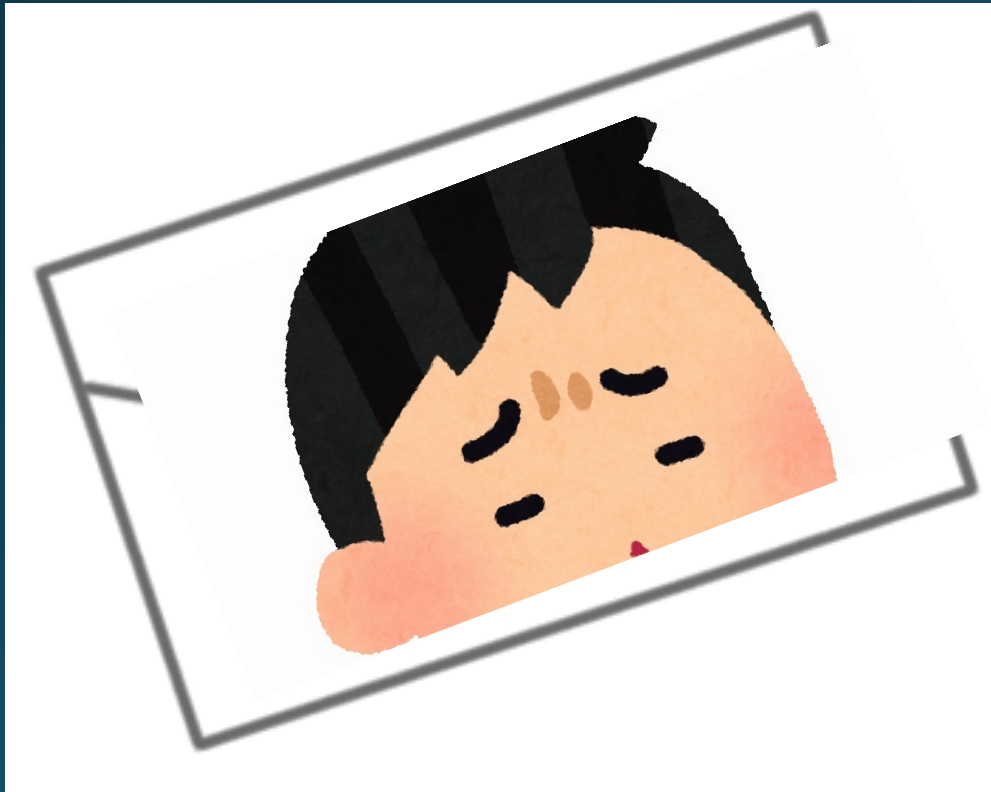
コース：日本語1～6、ビジネス日本語、  
メディア日本語など8コース

授業構成：13週間（講義1コマと演習2コマ）



# プロジェクト型学習開始のきっかけ

日本へ留学した学生から学部への一通の手紙(2001年)



日本語を体系的に理解できるような導入を!

日本語母語話者との接触機会を!

「小学校訪問」プロジェクト

日本人コミュニティ「キャンパス案内」プロジェクト

と交流プロジェクト「学食案内」プロジェクト

(2003～)

「私の好きな日本」プロジェクト

二国間協働学習

「おすすめ観光スポット」プロジェクト

プロジェクト

「ラジオ局訪問・出演」プロジェクト

(2012～)

「映像字幕作成」プロジェクト

国際共修活動

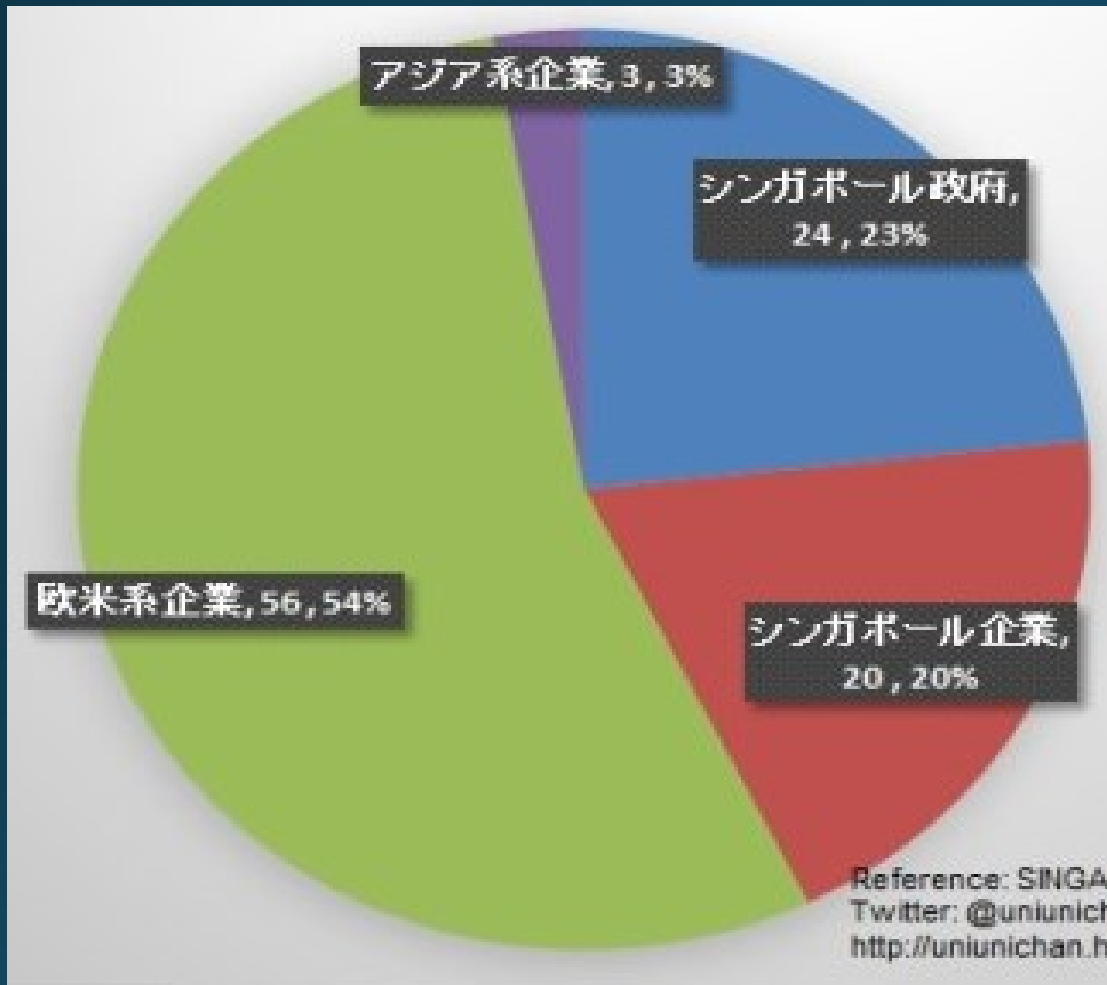
「企業訪問プロジェクト」

(2015～)

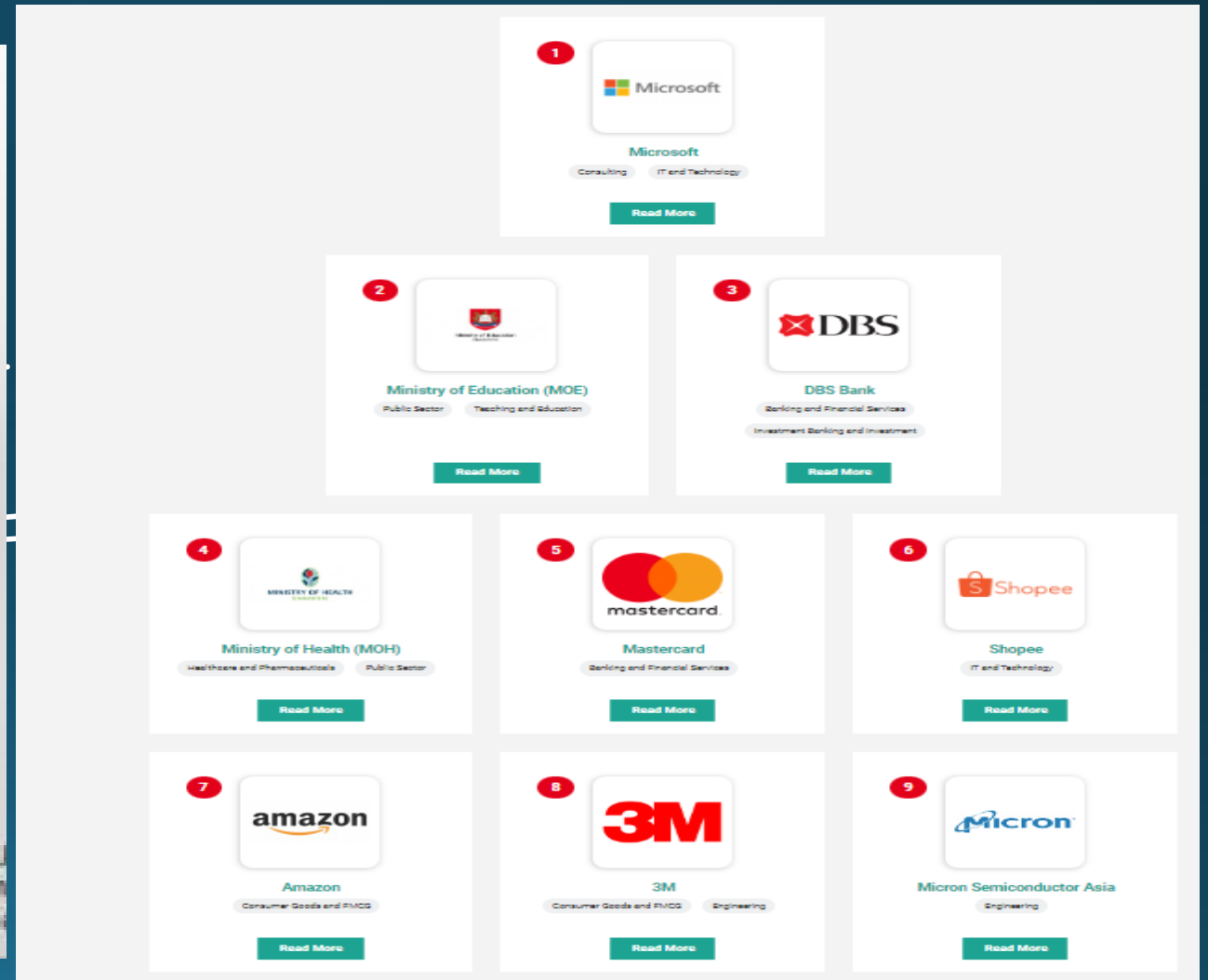
「日系企業セミナープロジェクト」

「新聞記事紹介プロジェクト」

# シンガポールのビジネス日本語教育の課題



n=5400 (2014)



n=13,989 (2021)

# ビジネス日本語教育でのPBLの目標

- ①日本語によるビジネスコミュニケーション
- ②異文化調整能力
- ③日本語による問題発見解決能力（堀井2012、近藤2015）
- ④社会人基礎力（協働力・協調性・リーダーシップなど）

+

- ⑤日本語とキャリアの関連づけ
  - 日系企業への理解促進
  - 就活への動機づけ

# PBLの意義：学習理論からの示唆

- 知識は、他者からの受け渡しではなく、**学習者自身が、能動的、そして社会的に意味づけを行うプロセス**を通して構築するものである (J. Bruner, 1990)
- ある領域の知識や技術の獲得はそれが要求される**実践共同体への参加を通して起こるもの** (Lave and Wenger 1991)
- 学習を促すためには、固定した学習内容を順番に提示していくのではなく、**実社会の中の生の課題を提示し、事例を通して学べる環境**を作るべき (D. Jonassen, 1994)

# プロジェクト型学習実践のポイント

- 1) 明確な目標を立て、その到達に向けたカリキュラムデザイン  
(Backward Design 1998)
- 2) 現実的なタスク(活動)
- 3) アクティブラーニングの促進
- 4) 学習共同体の構築・醸成への支援
- 5) 問題予期・発見後のスキュフォルディング(足場掛け)
- 6) 学習者の関心・強みを生かした活動
- 7) 多角的な評価方法の採用

# 実践例Ⅰ：企業訪問プロジェクト

# 企業訪問プロジェクトとは

小グループの学生が企業を訪問し、社員やOGへのインタビューを通して学んだことを発表するプロジェクト

Step 1. 企業に協力依頼

Step 2. 学生のグループ分け、訪問企業決定

Step 3. 訪問準備

Step 4. 企業訪問

Step 5. 報告書作成・発表準備

Step 6. 企業訪問発表会

# 1) 明確な目標を立て、その到達に向けたカリキュラムデザイン

(Backward Design 1998)

## 企業訪問プロジェクトカリキュラム

敬語の基本  
発表・司会の言葉  
待遇表現への気づき

名刺交換マナー  
アポイントのマナー  
挨拶のマナー  
訪問のマナー

敬語  
コミュニケーション

ビジネス  
マナー

ビジネス  
コミュニケーション

企業訪問  
プロジェクト

日本語能力  
試験N2  
BJTテスト

就職準備

ビジネス  
文書

あいさつ  
電話  
アポイント  
依頼・断わり  
インタビュー

社会人基礎力  
異文化調整能力  
問題発見解決能力

企画書  
依頼・確認メール  
お礼状  
報告書  
発表スライド

## 2) 現実的なタスク(活動)の設計

教材例

### 事前段階

「企業訪問企画書」の作成  
会社に関する情報の収集、読解  
敬語、ビジネスマナーなどの学習  
アポイントの確認メールを送る  
インタビュー質問の準備、練習  
訪問・インタビュー練習  
お土産とその説明の準備、練習

日本人大学生とのオンラインでの協働

### 接触段階

訪問のマナー、会話の実践  
ビジネスコミュニケーションの実践  
インタビューの実施  
お土産を渡す

+ 「観察タスク」

対面での協働  
(2013年~)

### 事後段階

「お礼状」を書く  
発表原稿、スライドの作成  
敬語に関する観察レポートを書く  
「企業訪問報告書」を書く  
企業訪問プロジェクト発表会の実施

オンラインでの協働

# 3) アクティブラーニングの促進

主体的・対話的・深い学び

- (1) 学習者による活動の立案・推進
- (2) 全学習者がリーダーシップとチームワーク
- (3) 「観察タスク」(Kasper2001, ウォーカー2011)の実施

自分の言語と目標言語の  
ギャップへの気づき促進

令和2年2月4日

企業訪問計画書

ビジネス日本語2コーディネーター

ウォーカー 泉 先生

グループ1 (TA3)

プロジェクトで行う企業訪問について、概要が決まりました。下記の通り提案いたします。

記

1. 訪問企業 クレア・シンガポール シンガポール支店
2. 担当者名 所長補佐の今井秀敏様 (副担当は所長補佐の打木伸和様)
3. 訪問希望日 2月24日 15時
4. プロジェクトの役割分担
  - チアン・レベッカ (グループリーダー)  
メール: [e0035550@u.nus.edu](mailto:e0035550@u.nus.edu) 電話: 91468275
  - タン・ホンウェイ (企業担当)  
メール: [tanhw@u.nus.edu](mailto:tanhw@u.nus.edu) 電話: 98694522
  - コン・インシェン (お礼+案内メール担当)  
メール: [yingxuan.kong@u.nus.edu](mailto:yingxuan.kong@u.nus.edu) 電話: 96354648
  - スン・ユウ・シヤン (発表担当)  
メール: [sun\\_yu\\_hsiang@u.nus.edu](mailto:sun_yu_hsiang@u.nus.edu) 電話: 98176631

## 4) 学習共同体の構築・醸成への支援

- 最適なグループ編成（日本語能力、学年、性別、関心、親疎、プロジェクト経験などへの考慮）
- 相手校とのグループマッチングに役立つ情報の収集・共有
- 懇親会等交流を深める場づくり

# 5) 問題予期・発見後のスキャフォールディング

(例) 企業とのメールのやりとり

件名：企業訪問のアポイントを取りたい

アジア・大洋州統括部 副部長 様

初めてご連絡させていただきます。

シンガポール国立大学「ビジネス日本語」コース

私たちの企業訪問プロジェクトを助けてくれて有難うございます。

訪問時間は1時間くらいです。

訪問日時は2月25日（月）午後2時宜しいでしょうか。

どうぞ宜しくお願い致します。

シンガポール国立大学 経済学部

HP :

メール : [e0026515@u.nus.edu](mailto:e0026515@u.nus.edu)

XXXX社 YYY部

XXX長 XXX様

初めまして。シンガポール国立大学XX学部X年のXXと申します。

この度は「企業訪問プロジェクト」にご協力いただき、どうもありがとうございます。お伺いできることを楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さっそくですが、2月26日（月）か27日（火）に伺いたいのですが、ご都合はいかがでしょうか。

何時ごろがよろしいでしょうか。

また、貴社のどちらにお伺いしたらよろしいでしょうか。

お忙しいところ恐縮ですが、ご連絡をいただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

シンガポール国立大学

XX学科X年 タン・リンリン

XY学科Y年 ルー・シェンロン

XZ学科Z年 ウー・ランラン (Sender's name should be in the end)

E-mail: wuranran@nus.edu.sg

# 5) 問題予期・発見後のスキャフォールディング

(例) 企業とのメールのやりとり

Q. 企業からお返事がきたらどうする？

Q. お返事がこなかったらどうする？

Q. 催促のメールはいつ頃送り、どのように書けば、失礼にならないか？

Q. インタビューの質問を知らせてくれと言われたらどうする？

Q. メンバー全員が訪問できない日時を提案されたらどうする？

# 5) 問題予期・発見後のスキャフールドディング

(例) 企業へのお土産

Q. 企業へはどんなお土産がよいか?

Q. 訪問中のいつ、どのように渡せばいいか



個別包装のお菓子などを準備しておいてください



個別包装って???



# 録音の許可求め



Q.下記の\_\_\_\_\_に入れて、会話を作ってください。

(話しを切り出す)

\_\_\_\_\_実は\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_ちょっとお願いがあるんですが\_\_\_\_\_...

(状況説明)

学期末の企業訪問発表会で、今日学んだことについて  
\_\_\_\_\_発表することになっているんです\_\_\_\_\_。

(控えめに依頼する)

\_\_\_\_\_それで\_\_\_\_\_、お話を\_\_\_\_\_録音させていただけるとありがたいんですが...。

企業:いいですよ NUS:あ、どうもありがとうございます\_\_\_\_\_。

企業:録音はちょっと... NUS:\_\_\_\_\_そうですか。わかりました\_\_\_\_\_。

# インタビュー質問の作り方

1. テーマに関連した質問を作る。
2. 会話の流れを考えて、質問の順番を考える。

## (1) 事業内容

1. 御社の**事業内容**についてご説明いただけますか。
2. **その事業**をする際に、**困難**なことはございましたか。
3. どうやって**その困難**を乗り越えましたか。

## (2) 企業文化（価値観 Value、行動様式 Behavioral Pattern、Corporate Identity）

1. **日本の企業文化**は、どのような特徴があると思いますか。
2. **シンガポール**でも、**日本の企業文化**が守られていると思いますか。
3. 日本での仕事のやり方と**シンガポール**での仕事のやり方は、違いがあると思いますか。

シンガポール支店を作るときにどんな困難がありましたか。

日本の企業文化の特徴は何ですか。

## 6) 学習者の関心・強みを生かした活動

- クリエイティブなタスク
- ITスキルを生かしたタスク
- <https://drive.google.com/file/d/13Vwt03Hs5qzTIiw8GQYxOHhaHn-OiUyK/view>  
(2018 企業訪問プロジェクト)
- 発表会ビデオ

# 7) 多角的な評価方法の採用

1) 自己評価  
VS  
他者評価

2) 個人評価  
VS  
グループ評価

3) プロセス重視  
VS  
プロダクト重視

## 第一発表：飲茶グループ（自治体国際化協会・クレア）

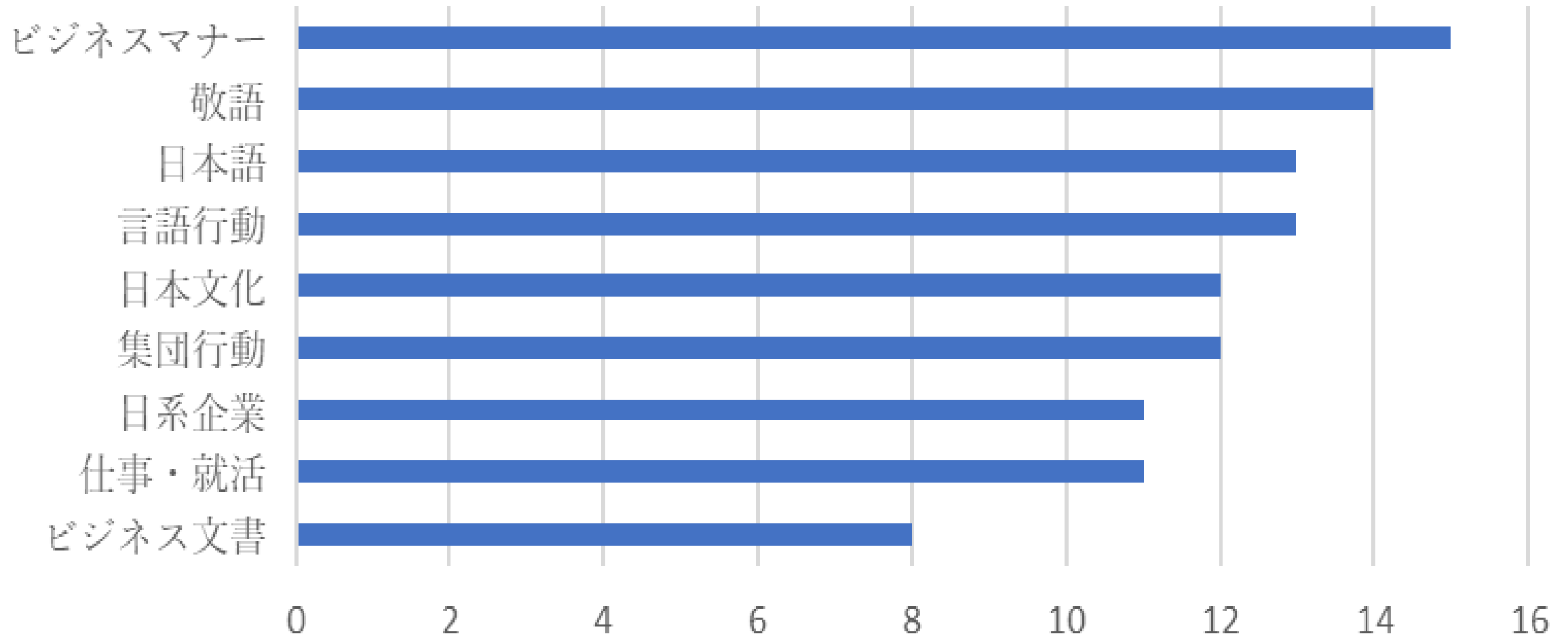
\*合計点を書いて、裏にお名前とコメントをお願いします

評価項目	評価点					Notes
	Poor	Fair	Good	Very good	Excellent	
1. 声の大きさ、スピードは適切だったか。	1	2	3	4	5	
2. 文法や語彙を正しく使っていたか。	1	2	3	4	5	
3. わかりやすく話していたか。	1	2	3	4	5	
4. 聞き手が理解しているかどうか配慮していたか。	1	2	3	4	5	
5. 発表の内容は興味深かったか。	1	2	3	4	5	
6. 論理的な構成で考えが伝えられたか。	1	2	3	4	5	
7. 発表スライドは効果的に使われていたか。	1	2	3	4	5	
8. 時間は上手に使われていたか。（超過は減点）						



# 企業訪問プロジェクトの成果

Q 日本人大学生との協働学習によって何が学べましたか。(n=23)



# まとめ：企業訪問プロジェクトからの学び

## 1. ビジネスコミュニケーション能力（会話・ビジネス文書）

待遇表現、クッション言葉、メールの書き方、  
インタビューの開始・終結、間の取り方、質疑応答

## 2. ビジネス文化・知識（仕事のやり方）

上下関係、笑顔、おじぎ、察しの文化、ビジネスマナー  
同一行動（集団）主義、慎重な計画

## 3. 社会人基礎力

情報収集、分析・集約能力、リーダーシップ、チームワーク、  
協調性、プレゼン能力

# 実践例2：企業セミナープロジェクト

# 企業訪問プロジェクトとは

グローバルに活躍している企業人を招いて行うセミナーを  
学生が企画、実施するプロジェクト

Step 1. 講演者への協力依頼（内定）

Step 2. 学生のグループ分け、担当決定（コーディネーター、広報、受付、  
メディア、司会、会場、撮影など）

Step 3. テーマ決定

Step 4. セミナー準備（企業研究や質疑応答）

Step 5. セミナー実施

Step 6. 振り返り

# 企業セミナープロジェクト カリキュラム

ビジネスコ  
ミュニケー  
ション

あいさつ、司会のことば、質  
疑応答のことば、パネル進行  
のことば

日本語  
基礎

企業  
理解

企業  
セミナー  
プロジェクト

企業概要、代表メッセージ、  
外国人採用、キャリア教育・  
人材育成、先輩社員メッセー  
ジ

協働力・リーダー  
シップ  
異文化調整能力  
問題発見解決能力

ビジネスマ  
ナー

ビジネス  
文書

挨拶、おじぎ、名刺交換、お  
出迎え、ご案内、席次、受付  
のマナー

就職  
準備

プロジェクト企画書、依頼メール、  
セミナーポスター、プログラム、参  
加者アンケート

# 1) 明確な目標と、その到達に向けた学習デザインの設計

- (1) 企業セミナーの企画・実施を通して、ビジネス・コミュニケーションを実践する
- (2) グローバルに活躍しているビジネス・リーダーによる講演を聞いて、\_\_\_\_\_について理解する
- (3) 企業セミナーで学んだことを通して、自分の将来の仕事や日本語学習について考える
- (4) グループワークや日本人大学生との協働学習を通して、リーダーシップや協調性、異文化コミュニケーション能力を高める
- (5) ハイブリットセミナーの実践を通して、ITスキルを高める

Let's learn  
about  
Japanese  
companies!

日系企業に  
ついて学び  
ましょう!

# WHY JAPAN?



## Guest Speakers:

- Mitsubishi Corporation  
三菱商事株式会社
  - ラン・ウ 氏講演題目: 総合商社を知る～  
三菱商事について
- Works Applications  
ワークスアプリケーションズ
  - 宮本雅己 氏講演題目: 日本のビジネスの歴史と  
将来について
- Sumitomo Mitsui Banking Corporation  
三井住友銀行
  - 松ヶ崎穂波 氏講演題目: Why Japan?  
Why Japanese Bank?

日時 (Date & Time) : 2月22日 (水)  
10:00AM ~ 12:00PM  
場所 (Venue) : LT12

All are welcome but please note that this  
seminar will be conducted in Japanese.

For more info, please contact: [a0116140@u.nus.edu](mailto:a0116140@u.nus.edu)

テーマ: Why Japan?

講演 目的: 日系企業の強みと海外戦略を理解する

パネル 目的: 日系企業で活躍できる人材を知る

質問1 貴社ではどんな人が活躍できると思いますか。日本人と  
外国人は違いますか。

質問2 貴社の外国人社員は日本語を使っていますか。もし英語  
を使っているとすれば、日本語ができるメリットはございますか。

発表会開始ビデオ

# 5) 問題予期・発見後のスキャフォルディング

## セミナーコーディネーター

- ✓ 講演者へのご依頼メール発送 2月3日まで。題目と要旨を2月10までお願いする。
- 質疑応答準備 W6 Q. 質問は何？
- 講演者のお迎え・お見送りの言葉 W6
- お礼状 W9

## 広報

- ✓ 広報用ポスターの作成 W5 Q. ポスターに何を入れるか。
- 広報 W5 Q. 誰に、いつ、何を、どのような方法で広報するか。
- プログラムの作成W6 Q. プログラムには何を入れる？

## 会場

- ✓ 招待者（日本語の先生）へのご案内/広報協力依頼メールのアレンジ  
W5 Q.先生への案内メールは、どんな内容？
- ご講演者・ご来賓席のネームカードの作成（座席に貼る） W6
- マイク・講演者のスライド・椅子(パネル)などのセッティング

## 司会

- ✓ 講演者への経歴依頼メールW5 Q. いつ出す？  
Q. CV(経歴は)何字ぐらい？ 返事をいつまでをお願いします？
- 講演者紹介のスライド W6
- 質疑応答のSCRIPT W6
- タイムキーパー Q. タイムは誰がどうやってレクチャーに伝える？

## 撮影・編集

- 撮影 Q. 写真はどんな場면을撮ったらいいか？ Q.ビデオカメラは何台？
- 編集
- ご講演者への写真・ビデオ送付メール



TRANSITIONS:  
未来に向けて



日高 達生 (楽天)



松ヶ崎 穂波 (三井住友銀行)



久富 英司 (ジェトロ)



細谷 篤志 (イトーキ)

セミナー概要  
(TBC)

日時: 2月23日(火) 18時-21時

会場: シンガポール国立大学大講堂LT13

主催機関名(コース名)は?  
イベント名は?

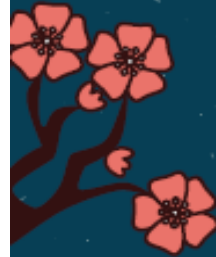
どこが主催、共催、後援?

正式企業名、役職名に

講演者からの許可なし  
の写真掲載

対面かオンラインか  
参加応募方法不明

# ハイブリッド企業セミナー



TRANSITIONS:

## 未来に向けて



**細谷 篤志 氏**  
株式会社イトーキ  
マネージング・ダイレクター

「働き方(Workstyle)」  
から見た日本の会社



**久富 英司 氏**  
ジェトロ・シンガポール  
所長

コロナ禍下の  
日本企業の海外ビジネスと  
ジェトロの支援



**日高 達生 氏**  
楽天アジア株式会社  
コーポレートカルチャー部  
ジェネラル・マネージャー

楽天グループ:  
日本発グローバル企業への道のり



**松ヶ崎 穂波 氏**  
株式会社三井住友銀行  
人事部研修所  
所長

10年後がどんな世界になっても

日時:2021年2月23日(火)18:00-21:00  
場所:シンガポール国立大学LT9  
及びオンライン(Zoom)

参加方法:Zoom  
応募締切:2021年2月19日(金)  
<https://bit.ly/3jAEkcc>

主催



シンガポール国立大学

共催



実践女子大学

後援



国際交流基金



# 参加者アンケート の作成、実施

## ハイブリッド企業セミナー参加者アンケート (Hybrid Business Seminar, Participant Survey)

2021年2月23日 (火) 開催  
【ハイブリッド企業セミナー】

本日のセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。  
今後の参考とさせていただきますため、アンケートのご協力をお願いいたします。

23 February 2021, Tuesday  
[Hybrid Business Seminar]

Our greatest appreciation for attending the seminar.  
For future reference, we wish to seek your cooperation in completing the survey below.

\*必須 (Required)

1. ご講演はわかりやすかったですか。(The speeches were easy to understand.) \*

1 2 3 4 5  
全く分からなかった (I did not understand at all)      非常にわかりやすかった (It was very easy to understand)

2. ご講演で学んだことは今後役に立つと思いますか。(I think that what I learned from the speeches will be useful in the future.) \*

1 2 3 4 5  
全く役に立たない (It was not useful at all)      非常に役に立つ (It was very useful)

3. ご講演が自分の就職について深く考えるようなきっかけになりましたか。(The speeches gave me an opportunity to think more deeply about my employment than before.) \*

1 2 3 4 5  
全くならなかった (I did not think more deeply about my employment)      非常になった (I am thinking more deeply about my employment)

4. ご講演を聞いて、日系企業により興味をもちましたか。(Did you become more interested in Japanese companies after the speeches?) \*

1 2 3 4 5  
全くもたなかった (I am not interested at all)      非常にもった (I am very interested)

# ハイブリット企業セミナー

## アンケートのまとめ

LAJ3204 Business Japanese 2  
Semester 2, 2020-21  
National University of Singapore

受付  
担当者:



### 1. 概要

#### 1.1. 回答者について

ハイブリット企業セミナーアンケートの回答者の情報は以下です。

- 総数: 57人
  - LAJ3204の学生: 11人
  - JWUの学生: 3人
  - 他のNUSの学生: 4人
  - 講演者: 1人
  - 他: 2人
  - 所属記載なし: 36人

#### 1.2. 問題の選択について

ハイブリット企業セミナーアンケートには合計11の問題がありました。

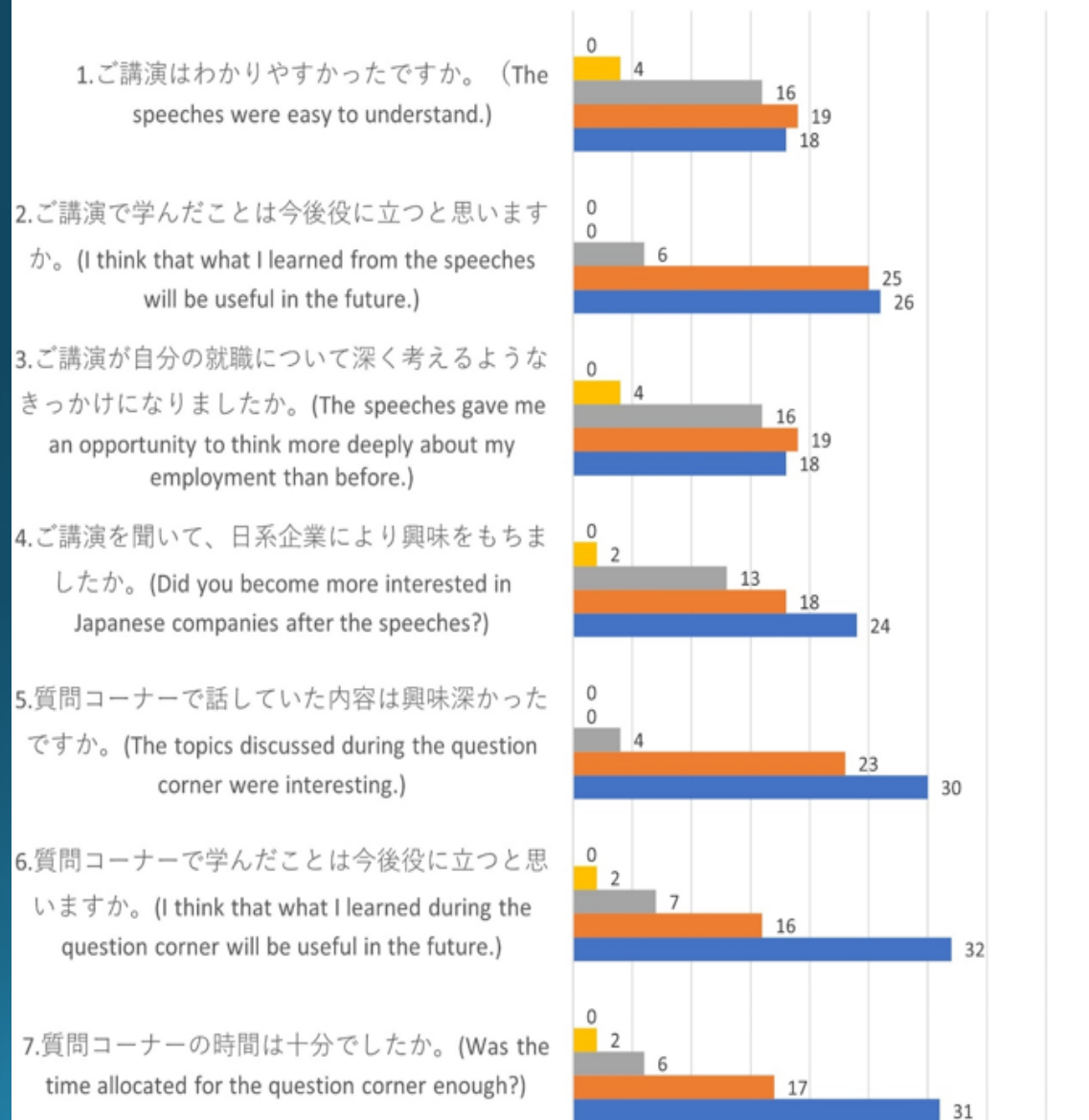
問題1から8では、回答者に各質問についてどのように感じたかを、から5のスコアから選択してもらいました。「1」が最も否定的、「5」が最も肯定的な選択肢です。

問題9では、回答者にハイブリット企業セミナーについてどのように知ったかを尋ねました。そして、複数の選択肢から選んでもらいました。

問題10では、回答者にセミナーについての意見と感想を書いてもらいました。

## 各自問題の結果

■ 1点 (非常に不同意) ■ 2点 ■ 3点 ■ 4点 ■ 5点 (非常に同意)



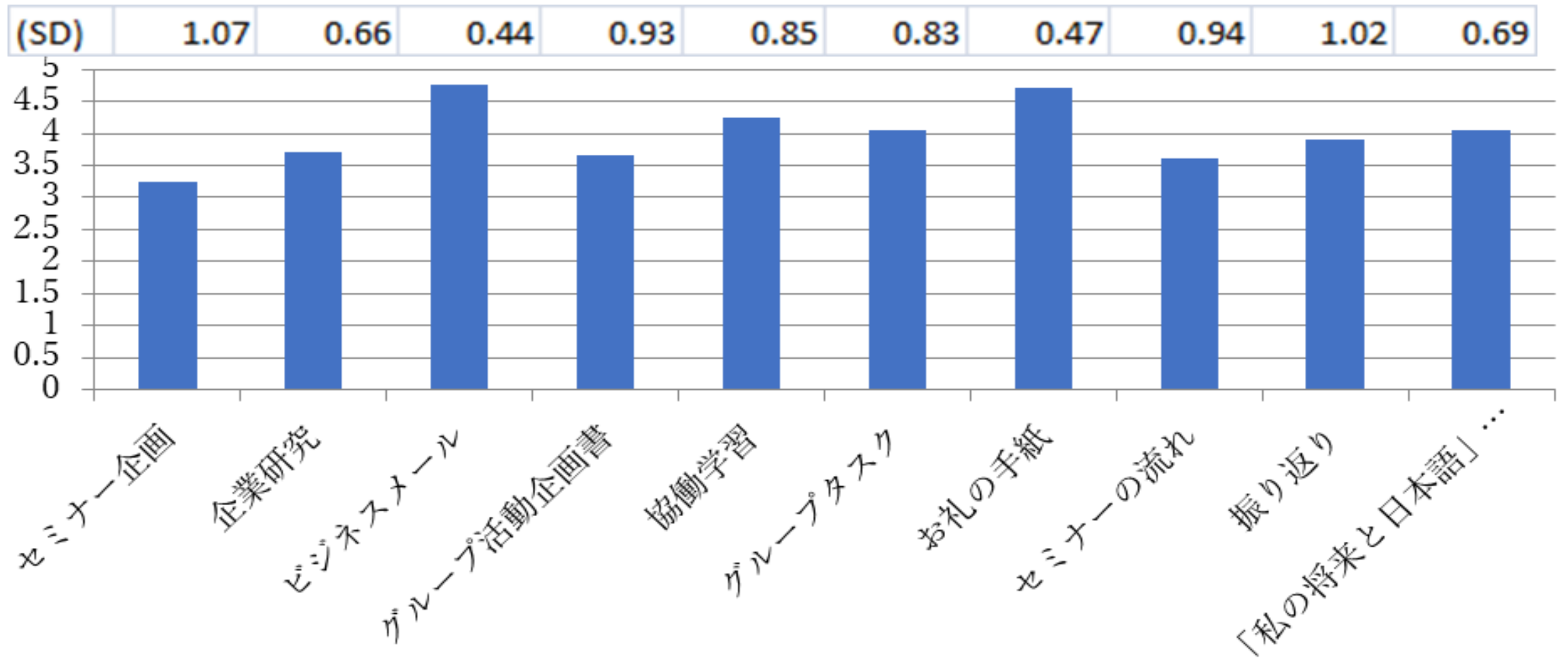
# 企業セミナープロジェクトの成果

Q このプロジェクトを通して何が学びましたか。

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| 1. 日本のビジネスマナーが学べた (9)       |  |
| 2. 授業で学んだことが、実際場面で応用できた (7) |  |
| 2. 日系企業に関する理解が深まった (7)      |  |
| 2. 実践的なビジネス会話が練習できた (7)     |  |
| 5. フォーマルな日本語が学べた (5)        |  |
| 6. ビジネスセミナーの実施方法がわかった (4)   |  |
| 7. 日本語の重要性の認識が高まった (3)      |  |

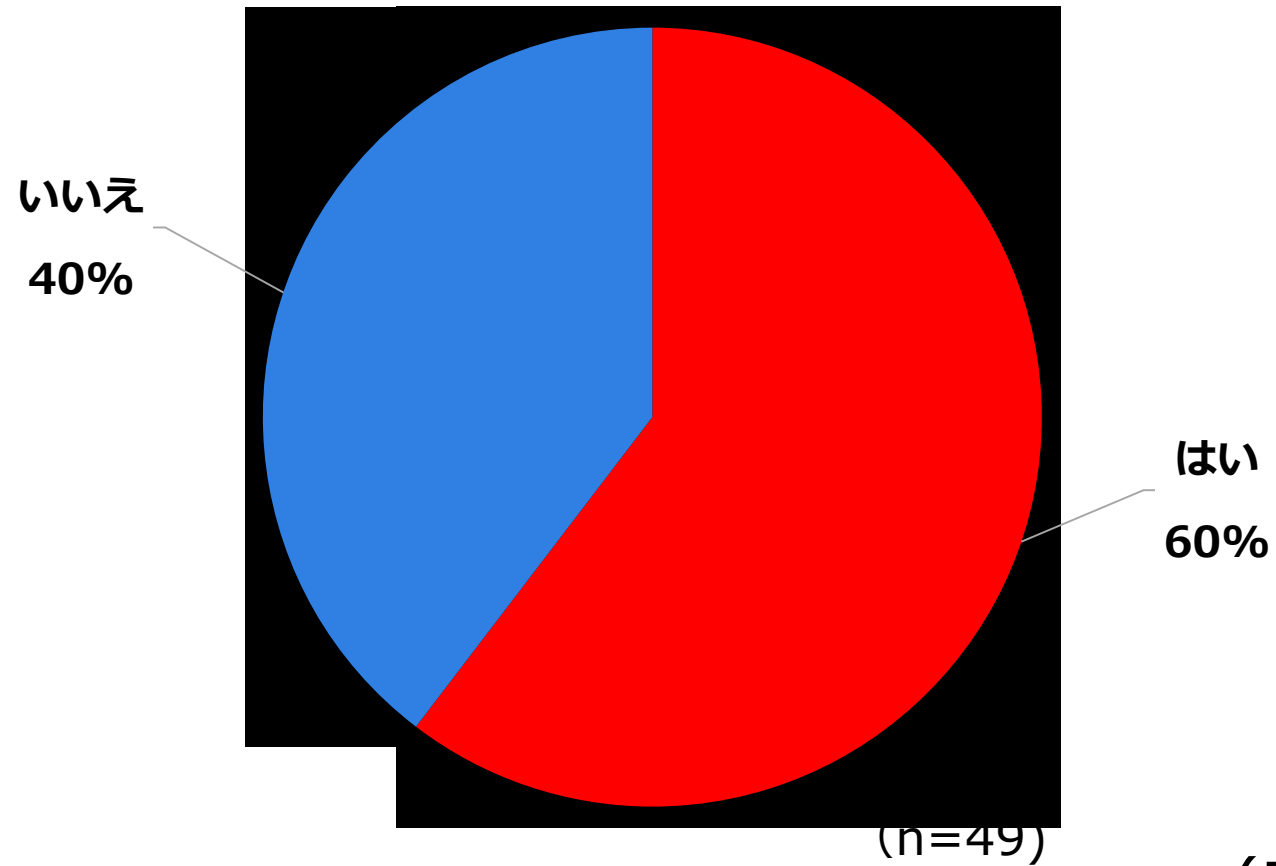
# 企業セミナープロジェクトの成果

Q それぞれのタスクはどのぐらい学習の役に立ちましたか？



# 日系企業への意識

Q. 日系企業への就職を考えていますか。



(ウォーカー2021)

## Q.日系企業への就職を考えている・いない理由は何ですか。

### 考えている

- ・ 高い職業倫理 (8)
- ・ 社員研修の充実 (8)
- ・ 日本語が生かせる (7)
- ・ 創造性の高さ (6)
- ・ 日本で働ける (4)
- ・ 仕事の安定性 (3)
- ・ その他 (3)

### 考えていない

- ・ 独特のビジネス文化 (6)
- ・ 就職・インターン先の少なさ (5)
- ・ 日本語力不足 (5)
- ・ 柔軟性・自由の欠如 (4)
- ・ 競争力の弱さ (2)
- ・ 安い給与 (2)
- ・ その他 (3)

# まとめ：ビジネス日本語教育におけるPBLの意義

教室での学びが現実社会へ応用できる

- 学習意欲の増大
- 日本語コミュニケーション能力
- ビジネスマナー・ビジネス文書など知識・スキル

学習共同体として現実的なタスクを遂行できる

- 実社会の生の課題・問題を発見・解決する力
- リーダーシップ、協働力、協調性
- 異文化調整能力（まじめ、細かい、決定に時間がかかる、上下関係、集団行動）

「日本語と自分の将来」について考える契機となる

- 「自己発見」（職業観、職業選択、ライフワークとしての日本語）
- 難関/人気企業・政府機関への就活成功
- 日本語教育の意義を大学や政府にアピールできる

# 参考文献

ウォーカー泉(2011)『初級日本語学習者のための待遇コミュニケーション教育—スピーチスタイルに関する「気づき」を中心に』スリーエーネットワーク

ウォーカー泉・高木裕子(2016)「グローバル化に向けた人材育成のための「二国間協働学習」デザインと教師の役割」『シンガポールビジネス日本語教育国際研究大会論文集』

ウォーカー泉(2018)「日系企業セミナープロジェクト シンガポールにおけるビジネス日本語教育」『国際シンポジウム紀要ビジネス日本語教育とグローバル人材』 ハノイ貿易大学

ウォーカー泉(2021)「コロナ禍におけるシンガポール日本語学習者の就職状況とキャリア展望」HR Forum 2021 変革を迫られるアジアローカル拠点のリアル～覚悟を持って変革してきたリーダーたち～ & HR Innovation 時代に、日本企業が輝く道、パネルディスカッション

近藤彩 (2015) 「ケース学習とは何か？」近藤彩(編)『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習職場のダイバーシティで学びあう (解説編)』ココ出版

堀井恵子 (2012) 「海外におけるビジネス日本語教育の新たなパラダイム—プロジェクト型ビジネス日本語教育の実践から」『21世紀の世界日本語教育・日本語研究中日両国国交正常化40周年記念論文集』高等教育出版社

Bruner, J. (1990). *Acts of Meaning*. USA: Harvard University Press.

Jonassen, D.H. (1994). Thinking Technology: Toward a Constructivist Design Model. *Educational Technology*, 34(4), 34-37.

Kasper, G. (1997). Can Pragmatic Competence be Taught? *NFLRC Network #6*, Second Language and Teaching Curriculum Center, <http://www.nflrc.hawaii.edu/networks/NW06> (6.2022)

Lave, J and Wenger, E. (1991). *Situated Learning: Legitimate Peripheral Participation*. UK: Cambridge University Press.

Wiggins, G. and McTighe, J. (2005) *Understanding by Design*, USA: Assn for Supervision & Curriculum